

分詞で話す・書く (標準)

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: 写真1枚を分詞で描写し、まとまりのある英文で書ける

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

This is a picture taken at our school festival last year.

これは去年の文化祭で撮られた写真だ。

The girl standing in the middle is my classmate, and the boys sitting on the floor are in the same club.

真ん中に立っている女の子はクラスメイトで、床にすわっている男子たちは同じ部活だ。

Everyone looked excited, and I still remember hearing my name called from the stage.

みんなわくわくしていて、ステージから名前を呼ばれたのを今も覚えている。

型で書く 型で書く—自分のことを3文 思考・判断・表現

内容は自由。形だけ型どおりに。書けたら隣の人と交換して、その名詞は「している」か「されている」かだけを見合おう。気づき: I heard my name called. の called を calling にすると「名前が誰かを呼んでいる」になります—1文字で場面が壊れます。

(1) This is a picture _____ at _____. どんな行事で撮られた写真か

(2) The person _____ is _____. 写っている人が何をしているか

(3) I was _____ when _____. そのとき自分がどう感じたか

ペアで話す ペアで話す—「この1枚」インタビュー

交代で質問→答えは1文+ひとこと補足。答えに Really? Tell me more. を1回は返す。気づき: The game was exciting. (試合が) と I was excited. (自分が) は主語が入れかわる別物—ペアで1つずつ言い分けてみよう。

(1) What is your favorite picture on your phone?

スマホの中でいちばん好きな写真は?

(2) Who is the person standing next to you in it?

その中でとなりに立っているのは誰?

(3) How did you feel when it was taken?

撮られたとき、どんな気持ちだった?

(4) Have you ever had your picture taken by a stranger?

知らない人に写真を撮ってもらったことは?

あいづち・返しの型: Really? Sounds fun. Tell me more. That's nice. Same here.

書く

自分の番—60語前後で書く

思考・判断・表現

Describe one picture you like, and tell us what was happening in it. (好きな写真を1枚選び、そこで何が起きていたかを説明する)

①いつ・どこで撮られたか ②写っている人が何をしているか ③そのとき自分がどう感じたか—の3段で、60語前後。分詞を3文以上で使う。

評価

先生はここを見ます (加点式)

分詞を3文以上、正しい形で使えている (している／されているの取りちがえがない)	+4点
「いつどこで→誰が何を→自分の気持ち」の流れがある	+3点
自分にしか書けない具体がある (固有の場面・理由)	+2点
50語以上書けている	+1点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直しで扱います。

振り返り

ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ